

日本

動画リンク: <https://youtu.be/8q3fv6AF5oE>

今回は"日本"を学びながら、日本語を勉強しましょう。
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には"ふりがな"があります。
後半は少しだけ速く(+20%)なり、漢字に"ふりがな"はありません。
学習にお役立てください。

現在、世界の人口は82億人です。
世界でもっとも人口が多い国はインドで14億4,000万人です。
世界でもっとも人口が少ないのはバチカンです。バチカンの人口は620人しかいません。
日本の人口は1億2,500万人です。

日本には四季があります。
四季というのは"春" "夏" "秋" "冬"の4つの季節です。

春には桜が咲きます。
日本の春は3月から5月の期間を指します。
地域によって異なりますが、日本の春の気温は10°C~20°C程度です。
暑くもなく、寒くもなく、生活しやすい最適な気温です。
夏が近づくとつれ、徐々に暖かくなります。

日本の夏はとても暑くなります。
日本の夏は6月から8月の3ヶ月の期間を指します。
朝と夜は25°C程度ですが、昼間は35°C程度まで気温が上昇します。
夏には、花火大会や盆踊りがあります。

秋には紅葉がとてもきれいです。
日本の秋は9月から11月の期間を指します。
地域によって異なりますが、日本の秋の気温は10°C~20°C程度です。
冬に向けて気温が徐々に下がり、涼しくなるので散歩や観光に最適な季節です。

日本の冬は、多くの地域で雪が降ります。
日本の冬は12月から2月の期間を指します。
寒くなり、暖かい服装が必要になります。
冬には、お正月やクリスマスなどのイベントが楽しめます。
地域によって異なりますが、日本の冬の気温は0°C~10°C程度です。
東北地方では最低気温が-5°Cなどになります。
北海道はとても広くて場所によって異なりますが、冬の最低気温は-10°Cや-15°Cになります。
沖縄は日本でもっとも暖かい地域なので、冬でも15~20°C程度の気温です。
たとえば、15°Cという気温は、北海道や東北に住んでいる人は"とてもあたたかい"と感じますが、
沖縄の人は"寒い"と感じます。

日本には、1つの都、1つの道、2つの府、43の県があります。

これを"47都道府県"といいます。

1つの"都"は東京都です。

1つの"道"は北海道です。

2つの"府"は大阪府と京都府です。

その他の地域はすべて"県"として表されます。

もっとも広い面積の都道府県は北海道で、もっとも面積が小さい都道府県は香川県です。

日本には富士山という山があります。

富士山の半分は静岡県にあり、もう半分は山梨県にあります。

富士山の高さは3,776メートルです。

富士山は日本でもっとも高い山です。

世界には富士山より高い山がとてたくさんあります。

世界的にみた場合、富士山はそれほど高くない山です。

しかし、日本人にとっての富士山は昔からとても特別な存在です。

日本には世界でもっとも高いタワー"東京スカイツリー"があります。

高さは634メートルです。

東京都の墨田区という場所にあります。

東京スカイツリーは、観光地として有名な"浅草"から近いです。

電車だと6分、歩いても40分くらいです。

タクシーに乗って移動すると5分・1,300円くらいで到着します。

東京スカイツリーは、建築物としてはドバイの"ブルジュ・ハリファ"、マレーシアの"PNB118(ムルデカ118)"に次ぐ世界第3位の高さです。

日本でもっとも長い川は信濃川です。

冬にたくさん積もった雪が溶けて川に流れ込みます。

信濃川は新潟県、長野県、群馬県などを通る川です。

信濃川の水は、きれいで栄養がたくさん含まれているので、新潟県、長野県、群馬県ではおいしいお米や野菜、果物などを作ることができます。

日本でもっとも島の数が多いのは長崎県です。

長崎県には、971の島があります。

長崎県は九州にあります。

長崎県には、美しい自然と歴史的な名所がたくさんあります。特に、五島列島や対馬は観光地として人気があります。

江戸時代に外国との貿易を許された場所は長崎市だけです。

江戸時代というのはSAMURAIが活躍した西暦1603年から1868年までの日本における時代を指します。

また、長崎は第二次世界大戦中に原爆が投下された都市の一つです。

平和公園や原爆資料館を訪れることで平和の大切さを学ぶことができます。

山梨県の実相寺(じっそうじ)というお寺には樹齢2,000年の桜の木があります。この桜の木は日本でもっとも古い桜の木です。日本の神様が植えたという伝説があります。

この桜の木は"山高神代桜(やまたかじんたいざくら)"と呼ばれています。この桜は高さ約10メートル、木の太さは約13メートルもあり、とても大きなその姿は多くの人たちに感動を与えます。

毎年春になると、満開の美しい花が咲き、たくさんの観光客が訪れます。桜の花が咲く季節には、地元の人たちや観光客が集まり、お花見を楽しみます。この場所を訪れることで、日本の長い歴史や自然の美しさを感じることができます。

日本には、大きく分けて16の方言があるといわれています。
東京などで話されている"標準語"がもっとも一般的な日本語です。
その他、関西地方で使われる関西弁、東北地方の津軽弁、"うちなーぐち"と呼ばれる沖縄の方言などがあります。
日本人であったとしても、生まれも育ちも東京の人は、津軽弁や沖縄の方言はほぼすべての人が聞き取ることができません。

日本では9年間の義務教育があります。
それは、小学校の6年間と中学校の3年間です。
小学校は6歳で入学して、12歳で卒業します。
中学校は12歳で入学して、15歳で卒業します。
中学校を卒業した95%以上の人は高校へと進学します。
高校を卒業した人の57%くらいの人が大学へと進学します。

日本では、数十年前までは、4人くらいの家族で1つの家に住んでいましたが、今は1つの家に平均2.2人が一緒に住んでいます。
日本の人口は年々減少しています。
2050年には今の1億2,500万人から9,500万人になるといわれています。

日本では男性が働き、女性が育児や家事をする家庭が多いです。
しかし、近年では、男性も育児や家事と一緒にやる家庭が少しずつではありますが増えてきています。

日本のサラリーマンは20代で30万円、30代で30~40万円、40代で35~45万円くらいの給料をもらいます。
賞与(ボーナス)と呼ばれる報酬をもらえる会社ともらえない会社があります。
賞与は1年間に2回支給されます。
1回の賞与は2ヶ月分などの会社が多いです。
ただし、会社の経営がうまくいっていないときは賞与をもらうことはできません。
賞与は毎月必ず支給される給料とは異なり、会社がたくさんお金を稼いだときに社員みんなに利益が分配されます。
日本のすべての年代、性別を合わせたときの平均年収は458万円といわれています。
日本人の平均貯金額は、20代が180万円、30代が500万円、40代が750万円、50代が1,150万円といわれています。

日本人の多くの人は65歳まで働きます。65歳になると退職します。これを"定年退職"といいます。
定年退職をした人の多くは国から支給される年金で生活します。
働いていたときにたくさんの年金を支払った人は、1ヶ月に15万円くらいの年金がもらえます。あまりたくさん年金を払っていない人は1ヶ月に5万~10万円くらいの年金がもらえます。
年金は2ヶ月に1回、2ヶ月分がまとめて銀行に入金されます。

日本には約6万店のコンビニがあります。コンビニはコンビニエンスストアのことで、日本でのみ通じる和製英語です。英語圏では通じません。
日本にはセブンイレブン、ファミリーマート、ローソンなどのコンビニがありますが、もっとも多いのはセブンイレブンで2万店以上の店舗があります。

日本全国には268万の自動販売機があります。
268万台を47(都道府県)で割ると、1つの都道府県あたり57,000台ですが、268万台のうち、東京には35万台の自動販売機があります。

日本の治安はとても良いです。世界平和指数というランキングで、日本は世界で9位にランクインしています。

治安が良いので、電車で居眠りをしても海外のような危険なことにはなりません。

治安が良いので、全国にはたくさんの自動販売機があります。

治安が良いので、財布を落としても戻ってくる人が多いです。

しかし、日本人の中にも悪い人はいるので十分注意してください。

日本には1年間に16の祝日があります。

祝日というのは、土曜日と日曜日以外にお祝いの意味を込めて国が指定した休日のことです。

元日(1月1日)

年のはじめを祝う日。

成人の日(1月の第2月曜日)

大人(20歳)になった人を祝う日。

建国記念の日(2月11日)

国を愛する日。

天皇誕生日(2月23日)

天皇の誕生日を祝う日。

春分の日(3月20日か3月21日)

自然に感謝する日。

昭和の日(4月29日)

戦後、日本人がとてもがんばったことを思い出す日。

憲法記念日(5月3日)

日本の法律を記念して、国の成長を願う日。

みどりの日(5月4日)

自然に感謝して、心を豊かにする日。

こどもの日(5月5日)

子供の人格を大切にして、子供の幸福を願い、母に感謝する日。

海の日(7月の第3月曜日)

海に感謝する日。

山の日(8月11日)

山に感謝する日。

敬老の日(9月の第3月曜日)

これまで社会に尽くしてきたおじいさんやおばあさんに感謝する日。

秋分の日(9月22日)

祖先や亡くなった人を想う日。

スポーツの日(10月の第2月曜日)

スポーツを元気に楽しむ日。

文化の日(11月3日)

自由と平和を愛し、文化について考える日。

勤労感謝の日(11月23日)

働く人に感謝し、働く人が感謝される日。

会社やその人の働き方によっても異なりますが、土曜日と日曜日がお休みの会社であれば、祝日、夏休み、年末年始などのお休みなども合わせると1年間のうち125日間の休日があります。

日本人の48.5%が神道を信仰しています。仏教を信仰している人は46.5%で、キリスト教を信仰している人は約1%しかいません。その他の宗教を信仰している人は4%です。神道というのは簡単にいうと、あらゆるものは神様であるという考え方です。石にも空にも木にも神様がいると考えます。

日本には、約80,000の神社があります。

一方、お寺の数は約77,000です。

お寺は仏教で、神社は神道です。

お寺と神社を合わせると、日本には約157,000ものお寺と神社があります。

先ほど、日本には6万店のコンビニがあるとお話ししましたが、神社やお寺はもっと多いです。

日本人は17%の人しかパスポートを持っていません。

イギリスは76%、カナダは66%、アメリカは42%の人がパスポートを持っています。

日本のパスポートは世界的にみてもとても信頼されていますが、わずか17%の日本人しかパスポートを持っていないのです。

日本は地震が多いです。

日本はとても小さな島国です。

日本の広さは世界全体のわずか0.23%しかありませんが、全世界で起こったマグニチュード(magnitude)6以上の大きな地震の内、約18%が日本で発生しています。

地震は火山と深く関係していますが、全世界の活火山の7.1%は日本にあります。

地震はとても怖いです。

しかし、日本で大きな地震が起きたときは世界中のたくさんの国の人たちが援助活動を行ってくれます。

私たち日本人はいつもそのことにとっても感謝しています。

本当にありがとうございます。

日本には、とてもたくさんの温泉があります。

日本各地には3,000以上の温泉地があります。温泉に入れるようになっている場所はそのくらいの数ですが、温泉が湧き出る場所はその10倍である3万箇所くらい数があります。大分県、鹿児島県、熊本県などの九州地方には温泉地が多いです。その他のエリアでは、静岡県や北海道、青森県、宮城県、福島県、長野県なども温泉地が多いことで有名です。

日本のアニメ文化は非常に素晴らしいです。2兆8,000億円の市場規模があります。そのうちの約50%は海外の人によって支えられています。アニメは日本の子供たちだけでなく、大人にも人気があります。また、アニメは日本の文化や歴史、風景などを知るきっかけにもなっています。アニメのキャラクターやストーリーは、世界中で愛されています。有名なアニメには"ドラゴンボール"や"ナルト"、"ワンピース"などがあります。アニメのイベントやコスプレも、日本だけでなく、海外でもたくさん行われています。これらのイベントでは、アニメファンが集まり、好きなキャラクターの衣装を着て楽しめます。アニメは日本の文化を世界に広める大切な役割を果たしています。

日本は、世界経済フォーラムが発表する"観光魅力度ランキング"で、第1位になりました(2021年)。ちなみに、2位はアメリカ、3位はスペイン、4位はフランス、5位はドイツ、6位はスイス、7位はオーストラリア、8位はイギリス、9位はシンガポール、10位はイタリアでした。日本が1位になったのは、電車の本数が多いことや時間が正確なこと、航空券が安かったり、治安が良いことなどが理由のようです。

日本人の90%くらいの方がLINEというメッセージアプリを使っています。LINEは友だちや家族と簡単にメッセージをやり取りできる便利なアプリです。メッセージだけでなく、電話やビデオ通話もできます。また、スタンプというかわいい絵文字を使って、気持ちを伝えることもできます。日本では、多くの方が毎日LINEを使ってコミュニケーションをとっています。例えば、アメリカで使われているWhatsAppやFacebook Messenger、韓国で人気のKakaoTalk、ベトナムでよく使われるZalo、中国のWeChatと同じようなアプリです。

日本人はよくお辞儀をします。お辞儀は日本の文化であり、日本人とのコミュニケーションでは欠かせないことができます。お辞儀には感謝や敬意を表す意味があります。たとえば、初めて会う人に対してお辞儀をすることで、相手に敬意を示すことができます。お辞儀の角度や深さによっても意味が変わり、軽く頭を下げる"会釈"や、深く腰を曲げる"最敬礼"など、状況に応じて使い分けます。

日本人は次のあいさつをよく使います。おはよう(ございます)、こんにちは、おやすみ(なさい)、ありがとう(ございます)、どういたしまして。(よろしく)お願いします、お久しぶりです。すみません。

しかし、もっとも便利なあいさつは"お疲れさま"かもしれません。

ビジネスのシーンにおける"こんにちは"や"お久しぶりです"は"お疲れさま"または"お疲れさまです"に置き換えることができます。

友だちとの別れ際のあいさつ"またね"は、"お疲れ～"に置き換えることができます。

先生や上司が生徒や部下を労うとき、よく"お疲れさま"という言葉を使います。

自分の家に帰ってくると、妻が"お疲れさま"と声をかけ、夫も"お疲れさま"と返します。

職場の同僚や友だちとお酒を飲むときも"お疲れ"や"お疲れさま~"という掛け声とともに乾杯しているシーンをよく見かけます。

ちなみに、"さま"は丁寧な言葉です。

相手が仲良しの友だちであれば"さま"は省略されて"お疲れ"とする場合が多いです。

"お疲れさま"は、感謝や労いの気持ちを伝えるために、いろんなシーンで使われる便利な表現です。

あなたも、ぜひ覚えて、使ってみてくださいね。

"日本"はいかがでしたか。

コメント欄から感想をみんなに教えてください。

それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Japanese-listening-SUSHI

